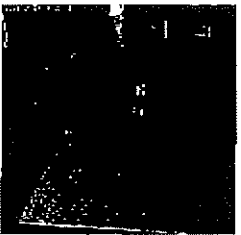
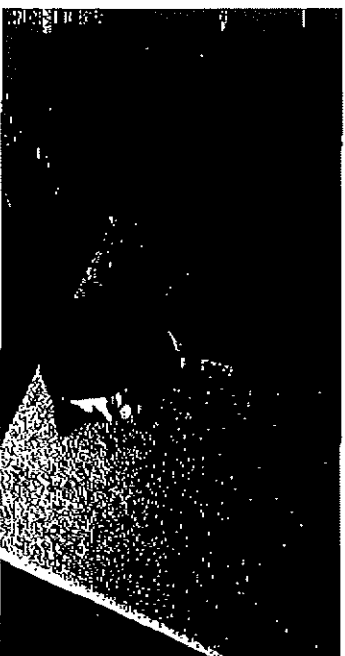


☆世界に1つだけ!!

上田建築さん（見附市、三林町）が得意の技術を使い木工製品を作っています。素材はケヤキで天然の木目を活かして1つ1つ手造りです。

各種オーダー受け付けます!!



※お問合わせは上田さんまで

090-4024-2961

※事業所の広告受け付けます。
詳しくは民商まで

☆定額減税勉強会

とき 6月7日 6時

ところ 民商 事務所

※賞金台帳をお持ちください。

☆見附民商

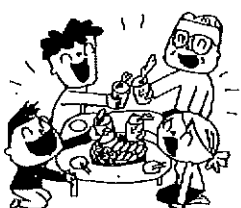
第50回 定期総会

とき 7月20日（土）4時

ところ 民商事務所

※懇親会を予定しています。

詳細は後日お知らせします。



当時は量り売りのお菓子屋さんがありました。

ある日、母親から伊藤博文の1000円札を2枚渡され「この範囲内で色々なお菓子を買って来なさい」と言われました。当時の2000円は大金だったのでプレッシャーが掛かりましたが、やってみました。

店に着きました。そこにはガラス張りの蓋が付いたお菓子入れが20個ぐらい格子状に並んであり、それが微妙に傾斜していました。

煎餅（塩・醤油）や各種アラレ、ゼリー、動物ビスケット、カリントウ、ミニドーナツ、餡切り、ミニチョコレートなどありました。なるべく同じ味が重ならない様に慎重に吟味しました。

私がリクエストすると店のおばさんがガラス張りの蓋を引き上げ、小さくて先の平らなシャベルで必要なグラムをすくってくれました。それぞれ単価が違つので考えながら買いました。

最後に計算してもらったら、お金が50円足らなくなりました。

私は「いいよ。サービスするよ」言ってくれるかと期待していると「さー、それを減らすかあ?」と非情にも言いました。私は「これは要りません」と言つて1種類キャンセルしました。

おばさんは「はい、分かった!」言つてそのお菓子は店の奥にしまいました。

お釣りをもらい店から出て行こうとすると、おばさんはさっき私がキャンセルしたお菓子を

「はい、これを返すだよ!」
と言つて渡してくれました。

今から思うと、おばさんは私に何か大切な事を伝えたかったかもしれません。おばさんは何年前かに亡くなりましたが、今となってはそれを訊くことはできません。

